



令和7年4月23日

本所防災館、開館から30周年！ ～ 特別企画を開催 ～

今年30年の節目を迎えた阪神・淡路大震災と同年の4月27日、都民の防災意識の醸成のため、本所防災館は開館しました。「いつでも・誰でも・楽しく」防災体験ができる施設として、多くの方にご来館いただき、令和3（2021）年11月には来館者250万人を達成しました。

また、都内3館ある防災館の中でも、本所防災館は風水害に関する防災体験ができる施設であることをコンセプトにしており、近年の線状降水帯やゲリラ豪雨の発生により、さらなる需要が期待されています。

今回、開館から30周年を迎えるにあたり、これまで本所防災館をご利用いただいた方々、地域の皆様への感謝の気持ちを込め、特別企画を開催いたします。

1 特別企画開催に伴う推進項目

地域特性に応じた防火防災教育を通じて地域の安全と安心を守る

2 実施場所

本所防災館（東京都墨田区横川四丁目6番6号）

3 特別企画内容及び開催日時

(1) 30周年記念特別企画ツアー「防災体験とミニコンサート」（別紙参照）

※一般の参加募集は終了しています。

令和7年4月27日（日） 10時00分から11時45分まで

(2) 「本所防災館開館30年の歩み」パネル展示

令和7年4月24日（木）から5月27日（火）まで

(3) 来館者へ30周年記念品（ボールペン）贈呈

令和7年4月24日（木）から5月27日（火）まで

4 本所防災館について

地震や消火などの体験機器の他、都内3館（池袋、立川、本所）ある防災館の中で唯一、都市型水害体験や暴風雨体験等の風水害の体験施設を備え、「風水害対応型防災館」のコンセプトの基、防災教育や報道対応等を行っています。

平成7（1995）年4月27日に開館し、平成19（2007）年4月23日に来館者100万人を達成、令和3（2021）年11月26日には来館者250万人を達成しました。令和7年4月1日現在の累計来館者数は280万459人を数えます。

来館者の特徴としては、平日は事業所や学校関係の団体利用が多く、土日は家族連れなどの個人利用者が多いです。近隣に有名観光地があるため、外国人観光客や都外からの団体利用者も多く来館されます。

なお、本所防災館の運営については、東京都政策連携団体である公益財団法人東京防災救急協会に委託しています。

東京消防庁本所防災館ホームページ

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/taiken/honjo/index.html>



5 その他

本企画における報道機関の方々の取材対応日は、令和7年4月27日（日）のみとなりますのであらかじめご了承ください。

問合せ先

東京消防庁（代表）	03-3212-2111
防災安全課防災安全係	内線 4208、4228
広報課報道係	内線 2346～2350

本所防災館30周年記念特別企画「防災体験とミニコンサート」

概 要

開館30周年を迎え、これまでご来館いただいた方々やご支援・ご協力をいただいた地域住民の皆様へ、防災体験と東京消防庁音楽隊のコンサートがセットになった特別ツアーを企画しました。

1 実施日時

令和7年4月27日（日）

10時00分から11時45分まで

2 実施場所

本所防災館（東京都墨田区横川四丁目6番6号）

3 参加者

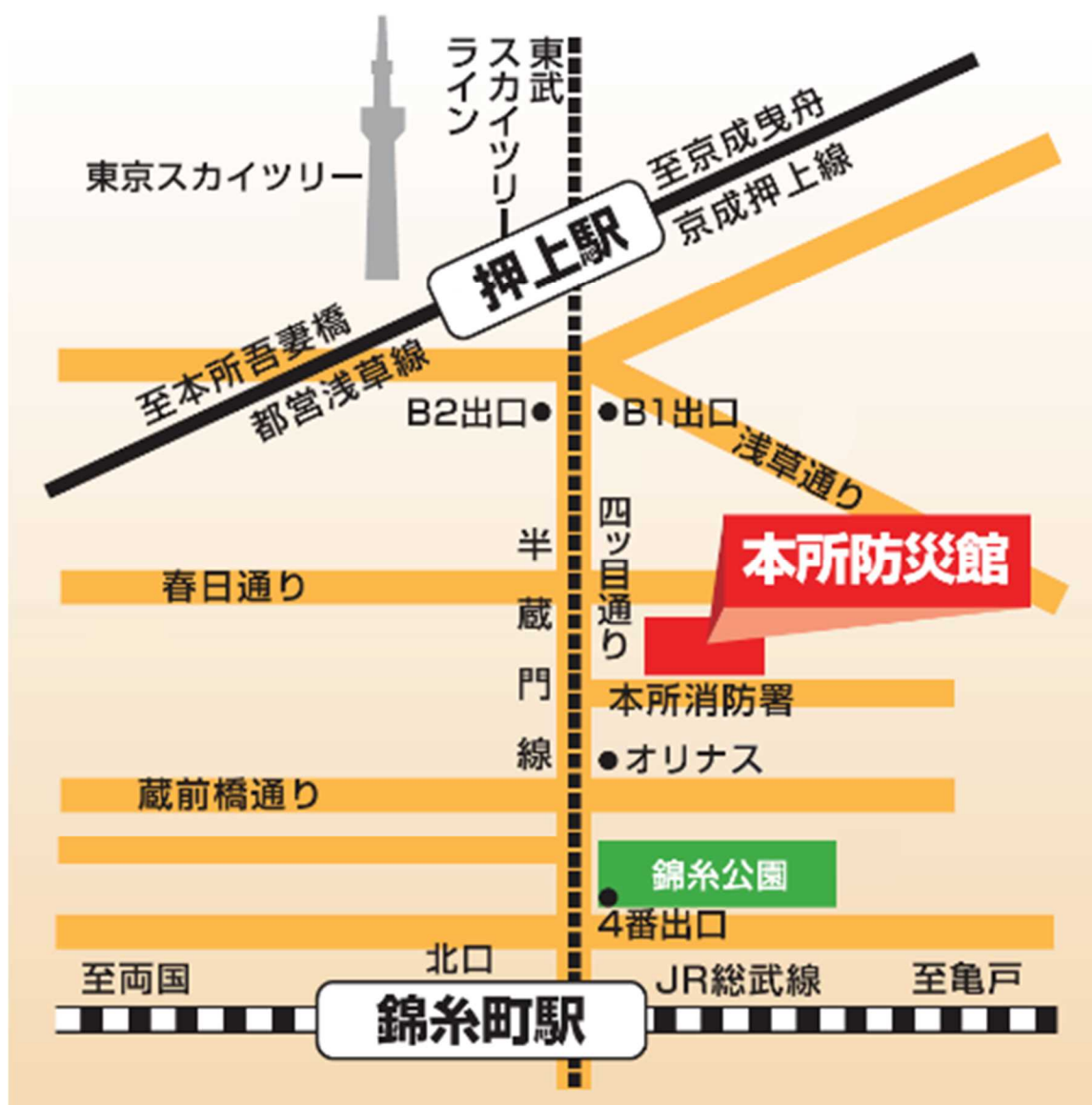
事前に予約した小学生以下の子供とその家族100名

4 実施内容

防災館での防災体験（防災映画視聴、消火・煙・都市型水害・地震体験）後に東京消防庁音楽隊によるコンサートを行い、参加者へ特別記念品の本所防災館マスコット「けすぞう」ぬいぐるみをプレゼントします。

5 その他

- (1) 取材を希望される社は、令和7年4月25日（金）12時00分までに広報課報道係までご連絡ください。
- (2) 当日は、建物1階出入口付近にて9時30分から受付を行います。（別添え参照）受付終了後、順次会場の撮影位置にご案内いたします。
- (3) 取材予定全社を会場へご案内後、レクチャーを実施します。
- (4) 取材の際は、自社腕章を着用してください。
- (5) 駐車場の準備はありません。近隣のコインパーキング等をご利用ください。
- (6) 本所消防署、本所防災館へのお問合せはご遠慮ください。



電車：JR 総武線・東京メトロ半蔵門線「錦糸町駅」から徒歩 10 分
京成押上線・都営浅草線・東武スカイツリーライン・東京メトロ半蔵門線
「押上駅」から徒歩 10 分